



希望記事

・著名人のインタビュー記事を載せてください。やはり、何かで名声を得ている人は素敵なことを言っていますから。

本誌では年2回のペースで著名人のインタビューを掲載しており、今後このペースで掲載していく予定です。

・マイクロカウンセリングについて取り上げて下さい。この手法を実践できると、職場でも家庭でも大変役立つと思います。

そんな手法があるんですね。来年度の企画の際、掲載を検討してみたいと思います。
※マイクロカウンセリングとは：
カウンセリングの訓練や実践のための体系的な方法。既成のカウンセリングなどから考え出された技法がユニットとして構成され、系統的に学習できる。

・「セカンドライフとキャンピングカーによる旅行」記事。退職者のあこがれの強さと駐車場所など直面する現実から取材できるとよいのですが。

キャンピングカーでの旅行については、「Next Stage」のコーナーでの掲載を試みたのですが、ご登場いただけられる方を見つけられず断念しました。どうかご紹介いただければ幸いです。

・子育ては楽しいけれど、仕事も忙しく、自分の時間もほしい。子育てをしながら輝いた生活を送っている人の工夫を聞いてみたいです。今はすべてが中途半端になっているようでモヤモヤしています。

本誌117号（2014年4月号）「Family」共働きの子育て」もぜひ参考ください。

・両親の介護の真ただ中なので、介護に関する記事は定期的に（毎月）掲載してほしいです。

毎号は難しいですが、年に1回程度は掲載していく予定です。

・年金減額が騒がれていますが、将来計画が狂ってしまうので詳しく知りたいです。

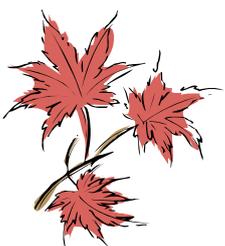
年金に関しては「年金Q&A」のコーナーで取り上げる他、まとまった情報があれば「Topics」のコーナーで紹介していく予定です。

・現役職員のメンタルヘルスに関する情報。例えば、うつ病等で休暇（職後）、どのように職場復帰させるかや仕事（ストレス）量の目安あるいは留意点など。

来年度の掲載について一度検討してみたいと思います。

・公務員にとり、仕事を通じて訴訟にまで進展するケースが無いとは限りません。必ずしも管理職だけではありません。一般職も被告となる事態も生じます。予め、これらについても一般的知識として知っておくべき法律面の内容について、取り上げることを希望します。

本誌104号（2011年2月号）Reportでは「全国地方職員福利厚生協議会が『地方公務員住民訴訟セミナー』を開催」のタイトルで、住民監査請求・住民訴訟への備え方について掲載しています。一度ご参照いただければ幸いです。



引き続き結婚生活の記事を希望します。また、「家事ハラスメント（家事ハラ）」についても、他のハラスメントと併せて取り上げていただければ参考になります（いままでの被害者が女性なのに対して、家事ハラは男性が多いというのも「他人事ではない」と思える記事になると思います）。

本誌2011年4月号Coverageのコーナーでは「妻がメインで夫がサポート？ 夫婦の家事・育児分担」をテーマに取り上げました。この中では、夫婦問題カウンセラー・小林美智子さんから「上手くいく夫婦家事分担のコツ」も指南いただきました。家事ハラスメントを取り上げられるかどうかは未定ですが、結婚生活の記事は今後も取り上げていく予定です。

・「消滅が予想される市町村」が言われている中、地域再生・活性化に取り組んでいる人の活躍状況を取り上げていただければ幸いです。

本誌「Person 風を起す」のコーナーでは、毎号、地域再生・活性化に取り組んでいる地方公務員の姿を、取材記事でお届けしています。こちらを、ぜひご覧ください。

その他ご意見

・「風を起す」はいつも楽しみに読んでおります。登場する人には「凄いな」と思うと同時に、自分も少しは見習おうと、刺激を受けております。

良い刺激にさせていただけて、嬉しい限りです。

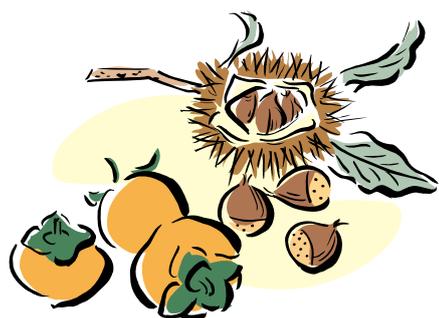
・「婚活」が取り上げられていましたが、我が県も婚活政策で少子化対策に取り組んでいます。最近、結婚を世話してくれる方（以前は年配の女性がいました）が中々見つかりません。少子化問題は我々の子どもの問題だけでなく私たち、そして日本の存続に関わる問題です。地域に奉職している公務員としても、少子化対策に汗を流したいと思っています。貴誌からも色々なアイデアをお願いします。

・公務員のライフプランで、結婚というテーマはとても大きな問題だと思います。最近では、専業主婦ではなく、夫婦共働きも多かったり、家事分担もいわれるようになってきていると思いますので今後の展開を期待しています。

家事分担のあり方も含めて、結婚について今一度考える時期が来ているのかもしれないですね。

・クールビズ特集、とても興味深く拝見しました。スーツやワイシャツばかりを着ているので、休日出勤時の私服なども、ちょっとおしゃれでかっこ良くいたいおじさんたちに向けた特集があるとうれしいですね。

確かに、休日出勤時の私服は結構悩ましいものですね。



・Egamiの「痛風」と「腹を凹ませたい人のトレーニング」は、私にとってタイムリーなものでした。50歳になり体のリフレッシュを実施しようと思っていたこともあり、早速実践させていただきまます。最近健康増進のため、スポーツジムに通い始めました。この歳になると徐々に体力低下と生活習慣病の脅威に悩まされるため、その改善策としてです。効果に期待しています。

実施後の効果もぜひお知らせください。

・黒川さんの脳科学が面白かったです。6千語喋らなければ女は眠れない、に領いてしまいました。就職して20年が過ぎ、すっかり「周囲に同化（男化？）」したかと思いきや、分かってもらえない!!と思う場面がまだあります（職場よりも家庭で感じます）。「考え方を変えるしかない」と決心して何年か経ちますが、黒川さんのお話を噛みしめて、もっとすっきりした心持で過ごしたいです。

男と女の脳の違いを知らば、腹を立てることも少なくなりそうです。

・アルプス愛読歴6年目になります。刊行毎に内容がより充実し、我々地方公務員のライフに役立つトピックスが満載で、誌面の構成も写真や図が増えて見やすくなっています。一冊で、いま知りたい情報まるごと分かるアルプス、これからも期待しております！
・今月号は婚活や夫婦関係の修復など、様々なライフスタイルのテーマを取り上げて、すばらしいと思いました。これからも新しい切り口のテーマを期待しています。

今後ともよろしくお付き合いください。

通信員からの評価が高かった記事

当誌では、通信員の方に毎号、各記事について「とても良かった」「良かった」「ふつう」「あまり良くなかった」「良くなかった」の5段階評価をいただいています。ここでは「とても良かった」「良かった」の評価が多かった記事をベスト3までご紹介します。

- 1位…Economy
「退職手当」の今後の見通しと管理と備え 岡崎謙二
- 2位…Health
20歳代、30歳代でも油断は禁物「痛風」の基礎知識と予防法 森脇優司
- 3位…Family
こじれた夫婦関係を修復するためのノウハウ—別居・家庭内別居から学ぶこと 小林美智子



お役に立てて嬉しい限りです。

・「Family こじれた夫婦関係を修復するためのノウハウ—別居・家庭内別居から学ぶこと」からの記事で、とても学ぶことが多かったです。記事の視点も普段とは逆から見ているため、「なるほど」と思いつながり読んでいました。着眼点の大切さを学ばせていただきました。

当コーナーは間接的ではありますが、通信員の皆さまの一つの交流の場と なっているような気がします。通信員の方にはお忙しい中お手数お掛けして 恐縮ですが、どしどしご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

・今回の記事は、普段より新鮮なことが多かったです。「通信員の声」ではさまざまな方が記事を読み、取り上げてほしいことが載るので勉強 強になります。